

施設工学特論演習 (2単位)

担当者氏名 牧恒雄・小梁川雅・竹内康・岡澤宏

◆学習・教育目標

施設工学特論に関連した演習科目で、修士論文を仕上げる為の基礎となる科目である。建設システム工学および水利施設工学の各専門分野に関する演習を行い、施設工学に関する専門技術者としての素養を深め論理的な思考能力を養うとともに、教員とのディスカッションを通じてコミュニケーション能力を養うことを目的としている。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

バイオマス 水利施設工学 土質力学 環境保全と復元
河川水質 土木材料学 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	建設システム工学からのアプローチ(1~7週)	循環型社会構築のためのバイオマス資源やりサイクル技術, またコンクリート材料や舗装材料に関する実験, 調査を手法を習得する。さらに得られたデータの検討手法について学ぶ。	配付資料を熟読し, 実験・調査に必要な器具およびその利用方法について予習する必要がある。
2	水利施設工学からのアプローチ(8~15週)	水文・水質・土質に関する実験・調査手法およびデータ解析手法を習得し, それらデータの持つ意味合いおよび施設設計への活用方法について学ぶ。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

授業初めの担当教員から指示にしたがうこと。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

授業初めの担当教員から指示にしたがうこと。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

課題等の内容で評価する

◆その他受講上の注意事項